ペットの脱水状態を予防するには

ネコちゃんとワンちゃんは全く異なる動物ですが、いくつか共通点があります。どちらも、健康で活発であるためにはよく遊び、寝て、かまってもらう必要があります。また、脱水状態にならないように水をたくさん飲む必要があります。脱水状態にならないように、ネコちゃんは毎日約300ミリリットル、ワンちゃんは、約600ミリリットル（テリア犬の場合）から約1200ミリリットル（ラブラドール犬の場合）の水を飲む必要があります。

ネコちゃんとワンちゃんで水を飲む方法が大きく異なるのは、体の大きさが違うからではありません。今日の飼い猫にみられる多くの習慣は、野生の祖先から受け継いだものです。

大昔、猫はアフリカの荒野の砂漠に住んでいました。猫はこのような乾燥した環境に住んでいたため、必然的に水を嗅ぎつけるのが得意になりました。文字通り、嗅覚がとても発達したため、水を嗅ぎつけることができたのです。猫は通常、清潔で、多くの場合は流れ落ちてくる水を探しました。

何世紀も経た現在でも、一般的な飼い猫はまだ水を嗅ぎつけることができます。また、ボウルの水よりも、流水を好んで飲む傾向があります。これは、ボウルの水を飲むとひげが濡れてしまうためです。ネコちゃんは与えられる水の状態に敏感で、汚れた水は飲んでくれません。

ワンちゃんは全く異なります。ワンちゃんは、飲めさえすればどんな状態の水でも飲み、濁っているほど喜びます。また、ワンちゃんは派手に散らかしてしまいがちです。水を飲んでいるボウルの周りは、いつもこぼれた水とよだれでべちゃべちゃです。ワンちゃんはネコちゃんよりも１度にとても多くの水を飲むので、散らかすことには意味があるのです。

ペットは、脱水症が原因ですぐに重い病気になることがあるため、給水状態の管理は非常に重要です。ネコちゃんやワンちゃんを飼っている場合は、ペットがいつも新鮮な水を飲めるようにしておきましょう。このことは、暑い時期やペットの調子がよくない時、ペットが年を取っている場合は特に重要です。

ペットが十分に水を飲んでいなくて心配な場合は、もっと飲むように促す方法がいくつかあります。とても簡単な方法の1つに、ドライフードからウェットフードに切り替える方法があります。ドライフードには約10％しか水分が含まれていませんが、ウェットフードには水分が約75％含まれています。切り替えると、すぐにペットの水分摂取量がアップします。

その他に、ペット用ウォーターファウンテンを使うという方法があります。ファウンテンは水が流れ落ちてくるように作られていて、ペットは本能的に頻繁に水を飲みに行くようになります。これは、ネコちゃんにもワンちゃんにも適しており、各種サイズを選ぶことができます。

特にネコちゃんには、祖先が流れる小川で水を飲んでいた記憶が残っているため、ウォーターファウンテンは人気です。大抵のワンちゃんはいつもの決まった飲み水ボウルから水を飲むのが好きですが、ワンちゃんが病気の場合に水を飲ませるには、ときは、ウォーターファウンテンがとても役に立ちます。

ペットにはできるだけたくさん水を飲ませるようにしてください。脱水症の兆候に注意するとともに、天候や加齢による変化に気をつけ、ペットが水を飲む行動にそれらがどのように影響を与えているか考えましょう。